

「夢を育む教育」人権学習活動

3月11日(金)全校生徒を対象に二部構成で人権学習活動を実施しました。前半は3・4校時の2時間をかけて、学習指導・支援者の川越孝洋校長と帝京大学の新谷和代先生による協働授業を行いました。「人と交流することの大切さ」についての知識と気持ちを共有したあと、自分たちの身近な問題「いじめ」を取り上げ、その問題点や解決方法を全生徒がグループで討論しました。



後半は講演会として、実際に起きている数々の「いじめ」訴訟を担当されてきた、弁護士の森田健二先生に人権学習のまとめのお話を伺いました。いじめに関する実際の事例を具体的にお聴きしたことで、いじめの悲惨さや命の大切さが深く生徒たちの心に刻まれました。森田先生はお話の中で「いじめがある学校が悪い学校ではなく、いじめが起きたことに対して何も対応できない学校が悪い学校である。」「正義の言動ができる最初の人になるう。」とおっしゃっていました。

いじめ問題をはじめ、全生徒が互いの悩みを共有しつつ、安心できる学校、成長できる学校づくりに生徒・教職員ともども取り組んでまいります。また、最後にお話しになられた森田先生ご自身のご経歴は、生徒たちにとってまさに「夢を育む教育」となりました。

